

4章 家庭学習の実践事例

◆研究

【家庭学習】の実践イメージ

- ① **基礎・基本の定着**：家庭学習ノートとデジタルドリルを組み合わせた漢字、計算指導等 ※平常時
 - ② **実技教科での活用**：タブレット端末活用による家庭学習課題（歌、リコーダー練習、調理、工作、運動などの実技等）の与え方 ※コロナ対応時の持ち帰り
 - ③ **反転授業**：タブレット端末の持ち帰りによる家庭での予習からの授業（反転授業） ※コロナ対応時の持ち帰り
- ※そもそも家庭学習の目的は何か？

「**基礎・基本的な力を定着**させ、**発展的な力**を育むとともに、学習習慣を確立させること」＝全員に出す「**共通課題**」の宿題と本人の意欲や学習状況に応じて進める「**自主学习**」から構成される。

【家庭学習】R4年度版の新しい「家庭学習ノート」が出来上がりました

2022年04月22日



前年度の学力向上委員会で3月末まで協議して全教員の意見を反映させて完成させたものです。ノートサイズは全てA4版に統一。様式は系統性を考慮して文字数、枠組等を調整。特に4年生用にはローマ字の罫線を入れて毎日アルファベットを書けるようにしています。

全ての学年・学級、全ての児童が使用する家庭学習ノートです。漢字、日記、宅習の3点セットをこの1冊に集約してあります。この家庭学習ノートを活用して共通課題として基礎基本の定着を図りながら、今後はデジタルドリルと組み合わせた自主課題にも取り組ませようと考えています。

自校オリジナルの家庭学習ノートを活用と掲示



家庭学習における家庭学習ノートとデジタルドリルとの併用の可能性を実践検証する。



2021年度実践

【家庭学習編】ロイロノート

→家庭での音楽実技学習

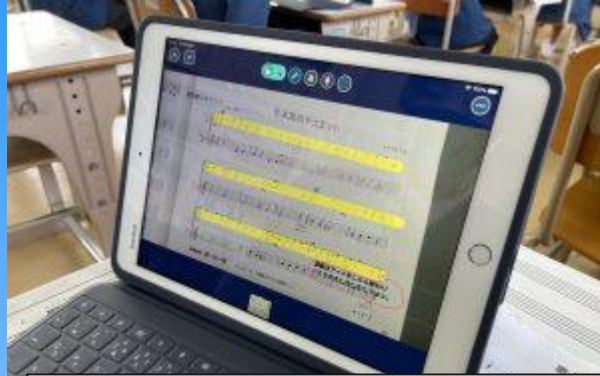
子どもは、家庭で歌やリコーダーの練習をして、その演奏を録画する。ロイロノートで先生へ送信（提出）する。先生はその演奏動画を見て評価する。

【教育の情報化】コロナ禍における音楽科授業での工夫について

2022年02月18日



授業時間に教師は児童用タブレットに楽譜等データ(演奏のポイント付)を送信して課題を与える。



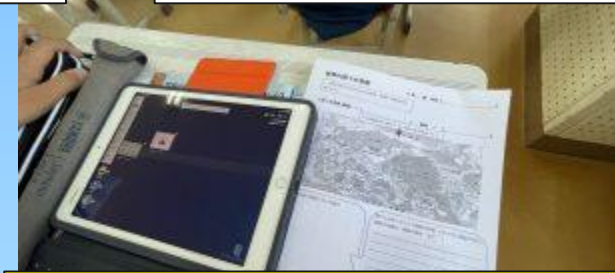
児童は、自宅で歌やリコーダーの練習をして、その演奏を録画して教師用のタブレット端末に演奏データを送信する。



教師は子どもたちから送られてきた演奏データを聞いて評価する。



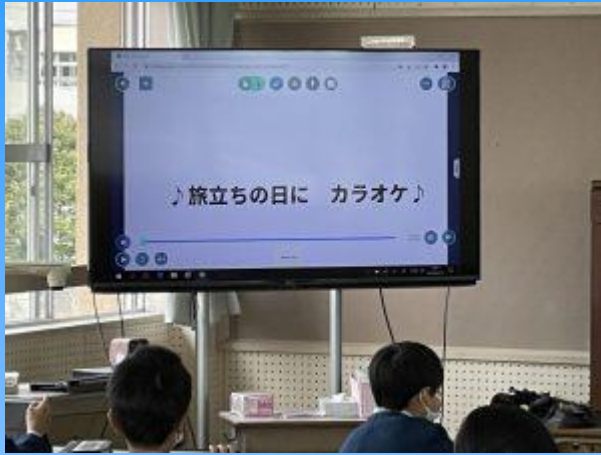
子どもたちが自宅でリコーダーや歌の練習をして、演奏したものをタブレット端末の内蔵カメラで録画して、そのデータを先生のタブレット端末に送信するという取組です。



タブレット端末を使って世界の国々の音楽について調べる活動をしています。

タブレット端末を自宅に持ち帰っての歌唱練習 のための事前指導

2022年03月12日



3月11日(金)音楽室では6年2組がタブレット端末の録音操作を確認しています。卒業式の最後に歌う予定の「旅立ちの日に」のピアノ伴奏カラオケに合わせて自分の歌声を録音するための操作方法を確認しています。

自宅で練習し、録画したリコーダーの演奏を先生のタブレット端末に返信された動画(3月)



自宅で録画した映像を送ると先生が評価してくれる

授業時間に教師は児童用タブレットに楽譜等データ(演奏のポイント付)を送信して課題を与える。



児童は、自宅で歌やリコーダーの練習をして、その演奏を録画して教師用のタブレット端末に演奏データを送信する。



教師は子どもたちから送られてきた演奏データを聞いて評価する。

2022年度実践

【家庭学習編】家庭学習ノート

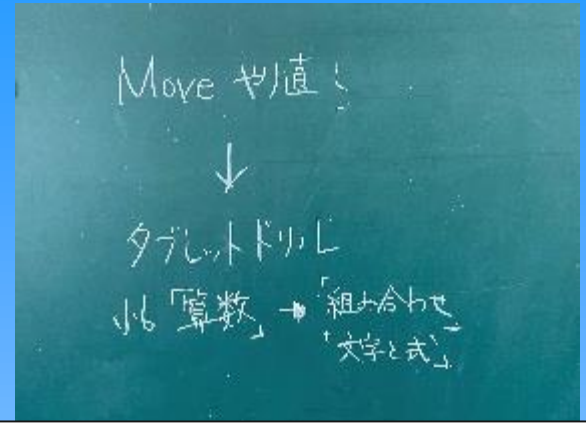
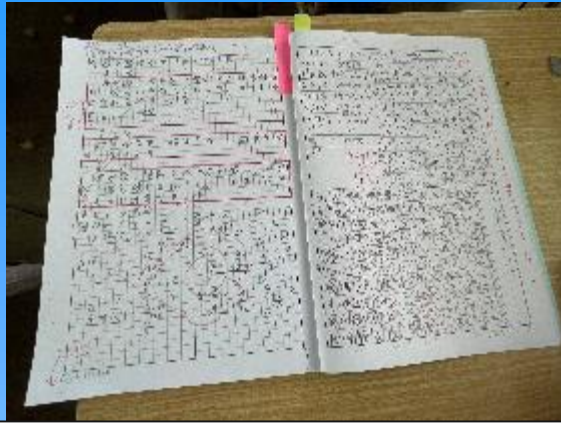
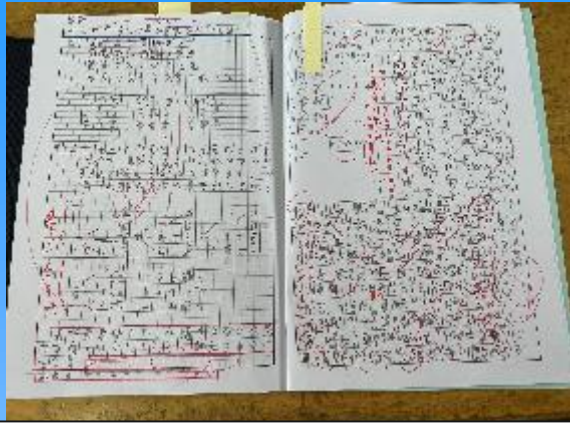
→学校での補充指導

(デジタルドリル)へ繋ぐ

アナログとデジタルを組み合わせた活用法

【家庭学習から学校での補充指導へ】

6の3(家庭学習ノート→デジタルドリル) 2022年05月14日



【家庭学習ノート】基礎基本の定着・習慣化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟



5月14日(土)の1校時に6年3組では、家庭学習ノートを返却した後にデジタルドリルを活用した補充指導を行いました。教師による家庭学習ノートへのきめ細やかな添削指導・やり直しを行った上でデジタルドリルに進む流れ・パターンの効果を検証しています。

※家庭学習ノートで基礎基本の定着→学校での補充指導：デジタルドリルで定着の確認、習熟を図る展開・流れ

2022年度実践

【家庭学習編】調べ学習

夏休み期間中の

タブレット端末の持ち帰り

7/19~8/19(1か月)5, 6年生対象(226名)
(調べ学習及びデジタルドリル等での活用)

【夏休みの家庭学習】5, 6年生でのタブレット端末の持ち帰り 自由研究の調べ学習や課題プリントをデジタルで代用します

2022年07月19日

【アナログ】昨年度の夏休みの課題帳全50p



【デジタル】タブレット端末の持ち帰り 調べ学習、作品制作等に活用

タブレット端末持ち帰りのメリット

【児童生徒側】

- ①自由研究などの取材、資料作成などが可能
- ②様々な調べ活動が可能
- ③取り組んだ問題の解答、解説をその場でできる。
- ④夏休み期間も操作スキルが向上 など

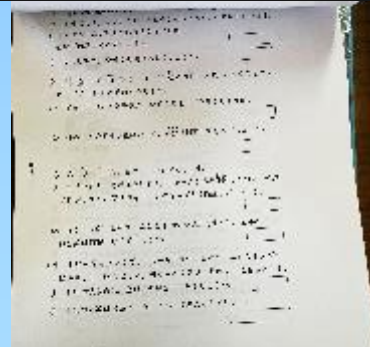
【教師側】

- ①プリント作成の業務削減
- ②紙の削減、印刷、丁合の業務削減
- ③進捗状況をタブレット端末内での把握が可能
- ④夏休みの課題処理の採点業務の削減 など

→日常的な持ち帰りに繋げるために 実践データを収集する

【アナログ】国算社理の課題プリント20p

【デジタル】デジタルドリルで代用



ペーパーレス化、個別学習での活用

2022年度実践

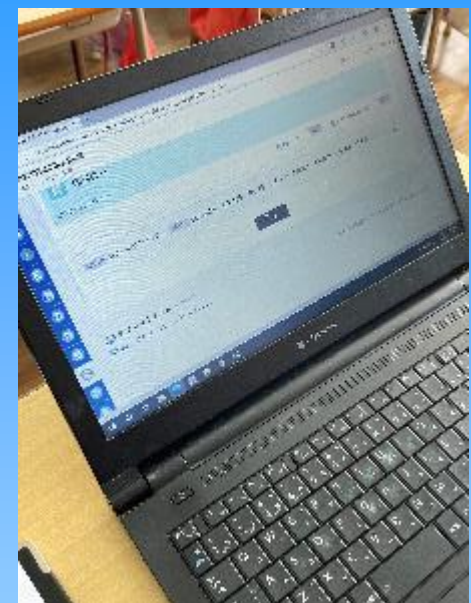
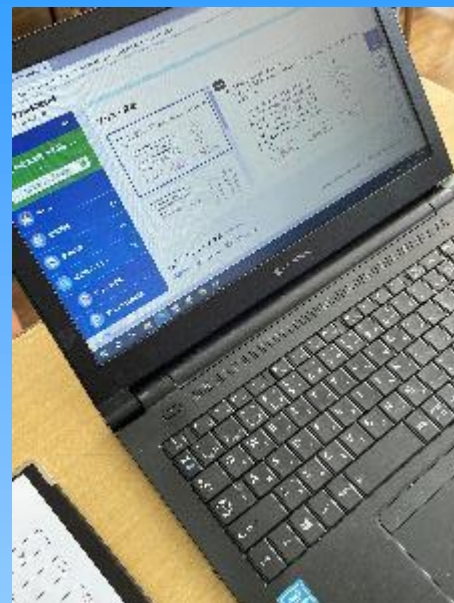
【家庭学習編】

**タブレット端末の持ち帰り
による家庭学習**

(デジタルドリル課題)

◆10月3日(月)6年生の家庭学習

【家庭学習】 6年生の宿題はデジタルドリル 『ナビマ』と『タブレットドリル』 2022年10月03日



10月3日(月)今週の6年生の宿題は、タブレット端末を持ち帰ってデジタルドリルの『ナビマ』『タブレットドリル』で行います。5, 6年生は夏休みに1か月間タブレット端末を持ち帰り、調べ学習やデジタルドリルに取り組みましたが、今週は家庭学習ノートやプリントではなく、デジタルドリルで家庭学習を行うことにしました。

この取組が上手いけば、日常的なタブレット端末の持ち帰りが可能となります。宿題がアナログの家庭学習ノートや課題プリントだけでなく、デジタルドリルという選択肢も加わることとなります。

2022年度実践

【家庭学習編】反転学習

タブレット端末の持ち帰り
による家庭学習→授業へ

(ロイロノートで課題を提出)

◆9月20日(火)5の2家庭学習

ICTを活用した反転授業における授業モデル構想(案)

9/21(水)5年2組
算数科研究授業
反転授業を具現化
化する。

(B 個別学習)

B4: 家庭学習

タブレット端末の持ち帰り

【家庭学習課題】2と3と4の公倍数の求め方を考えて、ノートに書く。タブレットカメラで撮り、提出箱に提出する。

学習過程

つかむ

見通す

調べる・考える

深める

まとめる

つなぐ

A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

(B 個別学習)

A 一斉学習

C1: 発表や話し合い

C2: 協働での意見整理

C3: 協働制作

C4: 学校の壁を越えた学習

B4: 家庭学習

5 前時の終末

主な学習活動

課題 2と3と4の公倍数を求めよう。

めあて 3つの数の公倍数はどのように求めればいいのか。

6 本時の予習(自宅学習)

予想される見解

- 3つの数字の倍数を書き出して、丸で囲んで見比べる。
- 数直線を使う方法。
- 1つの数の倍数書き出し、残り2つの数の倍数をさがしていく方法。
- 2つの数ずつ最小公倍数と公倍数を考えていく方法。
- 3つの数の最小公倍数を求め、その最小公倍数の倍数で求めていく方法。

※前時終末部で
次時の学習課題
を設定する。

家庭学習(宿題)
で課題を解く。

※本時

の整理、分
担しての作
品制作、交
流学習等

タブレット端
末の持ち帰り

5年2組 算数科「倍数と約数」前時終末～家庭学習の流れ

前時終末時に次の学習課題を設定

自分なりの方法で家庭学習課題を解く

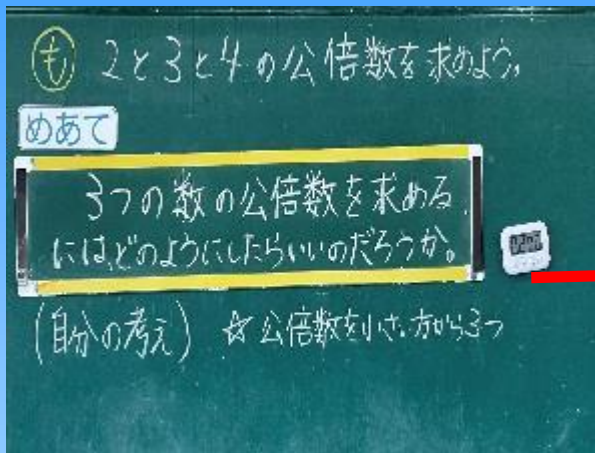
つかむ

見通す

調べる・考える

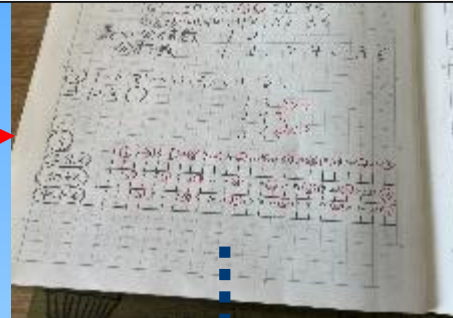
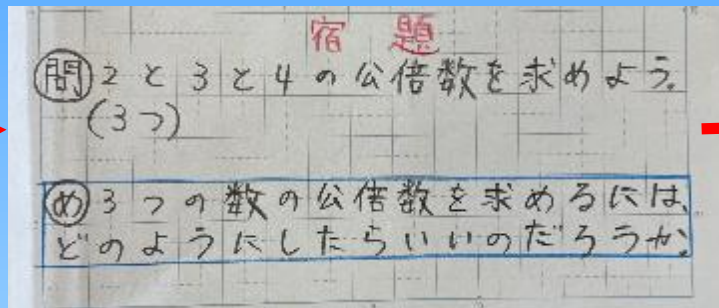
A1: 教員による教材の提示

B1: 個に応じる学習



自分の考えをノートに書きまとめる→写真に撮る→提出箱に提出

先生のタブレット端末へ写真を送信する



◆つかむ→見通す→考える で活用

【前時終末】

前時の終末で、次時の学習問題、めあて設定をする。解決方法を見通す。

【家庭学習】

家庭で自分の考えを算数シートに書く。算数ノートをタブレット端末カメラで写真に撮り、教師用タブレット端末に送信する。教師用タブレット端末に集約された子どもの考えを基に授業プランを練る。

子どもたちの考えをロイロで集約する



5年2組 算数科「倍数と約数」反転授業 本時

自分の求め方をグループ内の友達に説明→全体にも説明

デジタルドリルの活用

深める

まとめる

(適用学習)

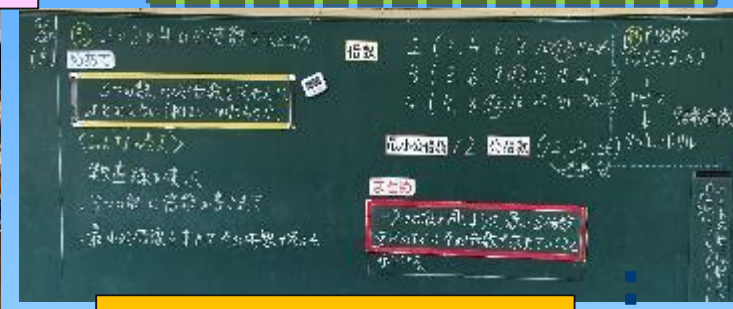
グループ内で個の考えを共有し、グループとしての考えをまとめる。→学級全体で共有して深める

本時の学習を振り返りながらまとめる

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ



◆深める→まとめる→適用問題 で活用

まず、グループ内の一人一人の考えをタブレット端末を使って説明し合う。

次にグループでまとめた考えを大型モニターに映し出して学級全体で発表し確認する。

最後に本時で学習した3つの倍数のある問題をデジタルドリル等を活用して解かせる。採点はデジタルドリルが行い、その達成状況は自動集計され記録・保存できる。

B1: 個に応じる学習

デジタルドリルで適用問題に取り組む
(教科書問題→ナビマ→タブレットドリル)



2022年度実践

【家庭学習編】調べ学習

冬休み期間中の

タブレット端末の持ち帰り

12/24~1/9(17日間)4年生以上対象(337名)
(調べ学習及びデジタルドリル等での活用)

【冬休みの家庭学習】4年生以上のタブレット端末の持ち帰り 自由研究の調べ学習や課題プリントをデジタルで代用します

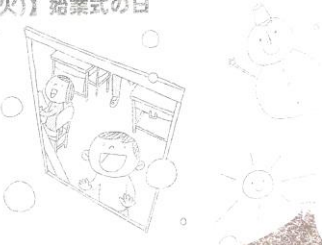
2022年12月24日

令和4年度

楽しい冬休み!!

課題帳を持ってくる日は【令和5年1月10日（火）】始業式の日

学習面の目標	生活面の目標
ふりかえって(反省)	ふりかえって(反省)



☆冬休みの学習について☆ 聖華西小学校4年生

楽しい行事がもりだくさんの冬休みがやってきました。17日間の休みです。計画的に学習をすませましょう。年末年始の家のお手伝いも、がんばりましょう。下の表をよく見て、取り組みましょう。そして、元気に3学期をむかえましょう。

<p>☆ 必ずすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しい冬休み（黄色の課題帳） <ul style="list-style-type: none"> 生活表（音読・読書もする。） 書き初め「出発」をして、清書を1枚提出する。 国語漢字のふく習（3まい） なわとびカードを使って、体力づくりをする。 伊藤園「お〜いお茶」俳句づくり ○ 冬休み新聞 <ul style="list-style-type: none"> ※ 思い出を、文にしましょう。絵や写真なども入れてもいいです。ていねいに書いて、色もぬりましょう。 ○ タブレットで、ナビマの練習問題をする。 <ul style="list-style-type: none"> →ナビマを開いて、左下の宿題のところをあけます！ <p>算数…8.がい数～15.小数のかけ算とわり算 まで (できるようになったこと、まなびを生かそうの問題だけ)</p> <p>社会…2.水はどこから 4.ごみのしょ理と利用 5.下水のしょ理と利用 6.地震からくらしを守る 7.風水害・火山災害からくらしを守る の問題</p>	<p>☆他にもチャレンジしてみましょう</p> <p>国語 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクールに出す作品をつくる(1つ以内)。(※ 内容も、お家の人にたしめてもらいましょう。) ・漢字練習、教科書の題字をする。 ・教科書の題字、プリントやテストの問題をもう一回、といてみる。 <p>算数 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの練習をする。 <p>図工 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクールに出す作品をつくる。(※ 内容や題字なども、お家の人にたしめてもらいましょう。) ・なわとびやジョギングをする。 ・ラジオ体操を続ける。 <p>体いく</p> <p>☆ 1月10日（火）始業式に持ってこよう ☆ 口のひびくすがた（印かん、保護者確認） ○楽しい冬休み（黄色の課題帳） □ふだでは ○校通カード □上書き □冬休みの作品 ○プリント入れ □読書の本 □ハンカチ・ちり紙 ○ぞうきん1枚（各学級ごとで） □のり・はさみ・色えんぴつ・なわとび・リコーダーなど</p> <p>10日（火）の日程 8：15～ 健康観察 8：35～ 始業式</p> </p></p></p>
--	--

【デジタル】調べ学習等に活用

【アナログ】国算社理の課題プリント

【デジタル】デジタルドリルで代用

タブレット端末持ち帰りのメリット

【児童生徒側】

- ①自由研究などの取材、資料作成などが可能
- ②様々な調べ活動が可能
- ③取り組んだ問題の解答、解説をその場でできる。
- ④休み期間も操作スキルが向上 など

【教師側】

- ①プリント作成の業務削減
- ②紙の削減、印刷、丁合の業務削減
- ③進捗状況をタブレット端末内での把握が可能
- ④課題処理の採点業務の削減 など

→宿題は紙プリントやノートで出すという考え方を変える

※ 思い出を、文にしましょう。絵や写真なども入れてもいいです。ていねいに書いて、色もぬりましょう。

○ タブレットで、ナビマの練習問題をする。
→ナビマを開いて、左下の宿題のところをあけます！

算数…8.がい数～15.小数のかけ算とわり算 まで
(できるようになったこと、まなびを生かそうの問題だけ)

社会…2.水はどこから 4.ごみのしょ理と利用
5.下水のしょ理と利用 6.地震からくらしを守る
7.風水害・火山災害からくらしを守る の問題

理科…7. 夏の星～14.物の体積と温度 まで

ペーパーレス化、個別学習での活用